

令和6年度 第2回花巻市地域包括支援センター運営協議会 会議録

1 開催日時 令和7年3月17日（月）午後2時30分～午後3時38分

2 開催場所 花巻保健センター2階 集団指導室

3 出席者

(1) 委員 10名

小早川 隆文委員、佐々木 貴洋委員、那須 秀逸委員、吉田 道子委員
橋本 純子委員、菊池 清委員、大原 初美委員、多田 悦子委員
小田島 克久委員、影山 一男委員

(2) 欠席した委員 5名

佐々木 千恵美委員、小原 啓彦委員、上川 亜矢委員、狩野 隆史委員
藤本 莞爾委員

(3) 地域包括支援センター 1名

花巻市地域包括支援センター所長 菊池 伸太郎 氏

(4) 花巻市 7名

健康福祉部	部長	今井 岳彦
健康福祉部長寿福祉課	課長	佐藤 ひとみ
健康福祉部長寿福祉課	課長補佐（介護保険担当）	佐々木 潔
健康福祉部長寿福祉課	課長補佐（高齢福祉・包括支援担当）	晴山 達也
健康福祉部長寿福祉課	包括支援係長	伊藤 幸恵
健康福祉部長寿福祉課	高齢福祉係長	菊池 隆則
健康福祉部長寿福祉課	上席主査	晴山 弥子

4 報告・協議

- (1) 令和6年度地域包括支援センター事業等の実施状況について
- (2) 令和7年度地域包括支援センター運営方針について
- (3) 令和7年度地域包括支援センターの取組について

5 議事録

- (1) 開会（佐々木課長補佐）

これより令和6年度第2回花巻市地域包括支援センター運営協議会を開会いたします。

私は本日の進行を務めさせていただきます長寿福祉課の佐々木と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

開会にあたりご挨拶申し上げます。

(2) あいさつ

①今井部長

委員の皆様には、年度末のお忙しいところ、また悪天候の中、令和6年度第2回花巻市地域包括支援センター運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、介護保険運営協議会から引き続きご出席の委員の皆様には、長時間にわたる会議となりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

本日の会議では、令和6年度のセンターの事業実施状況について報告するとともに、令和7年度センターの運営方針並びに取り組みについてご協議をいただきます。委員の皆様からの忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

それではどうぞよろしくお願いいたします。

②影山会長

お忙しい中お集まりいただき大変ありがとうございます。なごり雪になるのだろうと思いますが、委員の皆さんの貴重なご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<出席状況の報告>佐々木課長補佐

委員15名中、出席10名の出席をいただいております。

花巻市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条第2項の規定により、委員の半数以上の出席をいただいているので、本会議は成立することをご報告します。

なお、本日の会議の協議結果については、花巻市審議会の会議の公開に関する指針により、市ホームページ等で公開することを申し添えます。

それでは協議に移らせて頂きます。会議の議長は、要綱第4条第2項の規定により、会長となっております。影山会長どうぞよろしくお願いいたします。

(影山会長)

それでは次第3の令和6年度地域包括支援センター事業等の実施状況について、地域包括支援センター菊池所長より報告をお願いします。

(3) 報告

令和6年度花巻市地域包括支援センターの実施状況について、資料1について菊池所長から説明。

(影山会長)

ただいまの所長の説明について、委員の皆様方からご意見、ご質問を頂きたいと思います。

(多田委員)

東和地域包括支援センターの取り組みである「ちょこっと相談所」について、周知の点でとてもいい取り組みだと思うが、商店街の「ちょこっと市」に出店し、相談を受け付けていると聞いているが、利用者数と事業効果についてお聞きしたい。

(菊池所長)

東和の「ちょこっと相談所」につきましては、「土澤ちょこっと市」が毎月開催されているということで、それに合わせて毎月開催をしているが、毎回4名から5名程度の相談があるという状況。事業効果としては、福祉センターで待つだけの状態ではなく、商店街に出向いて相談するということで、毎回同じ方ではなく、様々な方に来ていただけたと思う。包括のことを広く周知することができた。認知症に関するプログラム等も実施したので、認知症に関する周知啓発もできたので、効果があったと思います。

(影山会長)

他にご質問ご意見いかがでしょうか。

(小早川委員)

歯科医師会の小早川です。相談の内容について、高齢者の生きがいや健康づくりに関する相談は解決しているのか。30件くらいあるようだが。今一番大事な問題点になってきているので、詳細を教えてください。

(菊池所長)

高齢者の生きがいと健康づくりに関する相談について、31件という数字ですが、自宅でやることがないという方々から何か体を動かすことのできる集まりがないかという相談があり、サロン等にご案内をしたり、シルバー人材センターの活動、総合事業のボランティア活動、社協のボランティアセンターの活動についても周知しております。あわせて、認知症サポーターの受講についても紹介しているが、その後何かしらの活動に繋がったかどうかについては、確認出来ておりません。

(小早川委員)

確認してください。お願いします。

(菊池所長)

はい、ありがとうございます。

(影山会長)

他にご質問、はい、どうぞ。

(菊池委員)

一つ目は、4ページ5行目の課題について、「各関係機関と連携しても解決しない困難な問題が増えている」とあるが、どのような事案なのか。

二つ目は、3ページ4行目の課題について、「医療と介護の連携について、連携の必要性を感じている一方で、連携がうまくいっていると感じている関係者が少ない」とあるが、どのように対応されてるのか。

最後に、5ページ5行目の課題について、「支所との連携協議を進めていく必要がある」とあるが、取り組み状況について教えて欲しい。

(菊池所長)

一つ目の「各関係機関と連携しても解決しない困難な課題等が増えている」という部分については、身寄りがいない、支援者がいない、障害を抱えている世帯、母子世帯または父子世帯、お金がうまく使えず親の医療費が払えないという事案。様々な機関に包括から相談しているが、その部分についてはちょっと難しいという返事が返ってくることがあった。関係機関に、ほぼ全てに問い合わせしているという状況ではあるが、できることできないことはそれぞれであるので、解決に至らないとこ

ろで、包括としては、関わり続けていくところで、説明をひたすら繰り返してはいるが、支援が必要な世帯に寄り添う形で、そういう状況であることも何度も説明をしながら、対応を続けているというような状況である。各関係機関の中で、できない理由を探すことが多いと感じることが多い。そうすると、包括は対応するためにどうしたらいいのか、ここまでならできるところを探して対応しているができないことがある。できるところまで何とかお願いしたいと、私達は働きかけ続けていくという取り組みを継続しております。

二つ目の「医療と介護の連携について、連携がうまくいっていると感じている関係者が少ない」についてですが、ケアマネさんが医療機関や他の事業所に行った時に、病院や薬局に対する敷居が高いというか、苦手意識がすごくあるということ。病院に対する苦手意識があるというのが見えてきたので、繋ぐ機会を作らなければいけないと思っております。それぞれ医療の分野、介護の分野ですので、お互いに全ての制度の内容を理解しているわけではないので、意識の違いで、意見が食い違っているところもあると思うので、それぞれの取り組み内容について、勉強する機会も必要だと感じております。

三つ目の「大迫支所との連携協議を進めていく必要がある」について、主催が花巻市ということもあり、今年度については花巻市主催の会議の中で、ケース検討等を行った。個別会議等を行ったが、事例検討だけではなく、更なる地域課題の掘り起こし、資源の掘り起こし、地域の福祉を担う方々が集まっているので、その中でそういった内容も取り組んでいきたいと考えております。

(影山会長)

他に質問ご意見いかがでしょうか。

(多田委員)

資料1-1にある専門職1人に対する高齢者数が1,594人とあるが、1人で1,594人を抱えているのであれば、かなり精神的な負担がかかっていると思うが、何か対策は考えているのか。

(菊池所長)

高齢者人口31,886名に対し、専門職20名で割り返した数字である。支援が必要な方の人数が1,594人いるというわけではないのでご理解いただきたい。

(影山会長)

非常に圏域ごとの成果と課題がそれぞれ詳しくまとめられていますし、非常に困難な課題もたくさん抱えているということがわかりました。

私が思うのは、困難な問題が多くなっているというのは、花巻市だけの問題じゃなくて、他の市とか県全体でも似たような問題があるのではないかと思いますので、情報共有のような連携ができる仕組みを作るべきだと思います。他の市に訪問して経験を共有し合う。今は非常に忙しいので、Webシステムでオンラインを使って、同じ業務をしている人たちの情報共有をするというのも参考になると思います。

もし令和6年度の実施状況について、特にご質問がなければ、次第の4の協議に移っていきたいと思います。それでは次第の4の協議の(1)令和7年度地域包括支援センターの運営方針について晴山さんの方から説明をお願いします。

(4) 協議

①令和7年度花巻市地域包括支援センターの運営方針について

晴山補佐より説明。

(影山会長)

質問、ご意見はいかがでしょうか。

(大原委員)

人員体制について、6年度と7年度同じということでしたが、圏域ごとの人員体制の数値が載っているが、花巻中央については非常に対象者数や相談件数が多くなっている所以人員体制も充実していると思うが、全体の統括は花巻中央が担っているのか。

(菊池所長)

全体の統括については、各圏域の管理者が取りまとめたものを、私のところで全体として取りまとめております。

(大原委員)

様々な相談内容と、ネットワーク会議の中で共有していくものについて、今年度についてはこういう部分について評価していこうというものはあるのか。

(菊池所長)

その部分については、次の圏域ごとの取組についてということで、取組の重点項目を記載しておりまして、各管理職が集まる管理者会議があるので、その際に確認をして、全圏域で共通認識を図った上で取り組んでいくものであります。

(大原委員)

10ページの(3)ですが、第1号介護予防支援事業の対象者、健康チェックリストから上がってくる人の割合を教えてください。第1号介護予防支援事業に、健診から上がってくる人も含まれるのかどうか。

(伊藤係長)

健診からチェックリストを通じて上がってくる対象者について、実施方法が変わったので、現在はおりません。

(大原委員)

わかりました。ありがとうございました。

(影山会長)

9ページについて、条例等では支援センターの職員配置予定について、条例は守られているので良いと思うが、大迫について専門職の保健師等1、社会福祉士等1、主任介護支援専門員が0だが、大迫の専門職が、主任介護支援専門員がやるべきことを代わりに対応しているのか。業務的に大丈夫なのか。

(菊池所長)

大迫の配置については、保健師と社会福祉士が1名ずつということで、主任介護支援専門員が欠員している状況ではあるが、基準で定められた2名で、他の圏域で主任介護支援専門員が行っている部分まで担うという状況ではあります。ただし、令和6年度の実施状況でも報告しましたが、ケアマネ支援については、主任ケアマネ、介護支援専門員がやるべきですので、石鳥谷圏域と大迫圏域が合同のテーマでミーティング等を実施し、状況によっては石鳥谷圏域に応援を依頼しながら対応しております。

(影山会長)

ありがとうございます。

他にご質問ご意見いかがでしょうか。ございませんでしょうか。

それでは次第の協議の（２）に移ってきたいと思います。

令和７年度地域包括支援センター取組について、地域包括支援センター菊池所長より説明をお願いいたします。

②令和７年度地域包括支援センターの取組について

菊池所長より説明

(影山会長)

それではただいまの菊池所長の説明について、委員の皆様からご意見質問をお願いしたいと思います。

(小早川委員)

石鳥谷地区の取組には、「口腔と栄養に関連する専門職の連携」が入っているが、可能であれば全ての地区でやっていただきたい。NHKでも騒ぎ始めているので、もっと広めていただきたい

(影山会長)

他にご質問ご意見いかがでしょうか？

(大原委員)

６年度の課題について、ケアマネージャーさんの医療機関との連携について、少し敷居が高いとか、連携が取りにくいという話があったが、関連職種の情報交換の集まりは考えてはいないのか。どのような形で医療と連携をとるのか。

(今井部長)

医療介護連携につきましては、市として医療介護連携ということで、介護保険運営協議会で紹介しましたが、多職種で年５回定期的にやっておりますし、各種関係団体の代表者の会議を年１回やっております。また、他職種で研修会等の取組を行っております。医療介護連携という部分で、私も会議は出席しておりますが、私が聞いている範囲では、医療と介護の連携はとれてきているという話を聞いておりま

す。ただし、現場についてはわかりかねる部分がありますが、市としての取り組みということで紹介をさせていただきます。

(大原委員)

多職種となると、福祉関連なのか医療関連なのか、いろんな関連職種があると思うが、他職種の中身はどのようなになっているのか。

(今井部長)

医師会、歯科医師会、薬剤師会、ケアマネの会、介護サービス事業者、栄養士、看護部会及び訪問看護の方々。いわゆる医療介護、在宅医療の方々。それに関連する関係機関団体、包括支援センター、市も入っての協議会。多職種の連携に関する研修会を年3回ぐらいは実施しております。こういう状況で医療介護連携については取り組んでいるところでございます。

(大原委員)

各圏域で必要かもしれないし、市の介護保険関連で連携が取りやすくなっていくと非常にいいと思うので、よろしくお願いいたします。

(影山委員)

はい、ありがとうございます。他にご質問ご意見どうぞ。

(佐々木委員)

医療連携について、何となくこのまま会議が終わってしまうと医療連携がうまくいっていないように思われてしまうので、少し私から報告します。3月7日に、岩手県老人保健施設協会主催により、県からの委託で、医療と介護の連携で発表がありまして、それはオンデマンドで視聴可能だったのですが、東和病院さんと小規模多機能ホームいづなの連携について実践報告させていただきました。どのような報告をしたかという、特別な報告をしたわけではなく、日頃の東和病院さんといづなの良好な関係性を報告しながら、お互いに顔と顔を繋ぐ関係性を築いているというお話をさせてもらいました。実は本日も東和病院さんの協力を得ながら、違う件でご相談させていただいたが、そういった意味で東和では、東和病院さん中心に、すごくいい関係で医療と介護の連携が図られております。敷居が高いというのは、それぞれ思っているところかもしれないが、お互いが利用者さんを支えるため

に、何ができるかという、寄り添いながら考える必要が今後出てくると思います。そういう部分では、苦手意識というのはあるかもしれないが、仲良しを作るわけではなくて、1人の患者さん、利用者さんを支えるために、チームとして動くものなので、顔の見える関係性の次の段階、顔と顔を繋ぐ段階のところで、少し考えていければいいのかなと思っていました。うまくいっていないだけでなく、うまくいっているところももちろんございますので、そういったうまくいっているところの情報、何がうまくいっているのかということのを改めて拾っていただいて、何か参考になれば良いなと思います。

私はケアマネ協会の副会長という立場で話していますが、看護協会の立場というところで、吉田委員さんに一言いただきたいと思います。

(吉田委員)

この場では看護協会所属という立場でありますけれども、私は東和病院の看護師をしております。佐々木委員から紹介いただいたケースについて、ある患者さんを通じて、私達の関係性も近くなったかなと思っています。私達の病院に入院されていた患者さんのケアを通じて、佐々木委員を中心として、皆さんすごく丁寧に関わっていただき、その患者さんが、すごくその施設に帰りたいと言っていた。退院した後、その施設に帰るためにはどうすればいいのか。その人が人生を全うするためにどうすればいいのか。という部分を通じて、自分たちができることを中心として連携をとらせていただいた。その経験を通じて、すごく私達自身もそれぞれの役割を学ぶきっかけとなり、病院としての役割、ケアマネージャーの役割、あとは介護施設の役割、それぞれがどうすればいいのかという事を考えていきたいなと思います。そこから私達はもうちょっと勉強しなければいけないというところで、勉強会を企画した際に、佐々木委員に講師を務めていただいた。まずはお互いを知る所から良い関係性ができたと思いました。先ほどから、病院や薬局の敷居が高い、連携が取りにくいというお話が出ており、非常に耳が痛かったのですが、まずはお互いを知ることが必要だということで、声をかけて話をする。あとは名前を出して名前呼び合ってみるというところから、関係性が良くなるということを感じております。

(影山会長)

はい、ありがとうございました。非常に素晴らしい例だと思います。東和病院を中心とした、医療と介護の連携。そのような事例も出ておりますので、医療と介護

がうまくいっている例もあるということを情報共有できたと思います。非常にありがとうございました。

他にご質問ご意見いかがでしょうか？

特にございませんでしょうか？先ほどから降っていた雪も止んだようですので、ご意見もないということですので、4番目の協議はこれで終了といたしたいと思います。

同時に、議長も退任させていただきます。どうもありがとうございました。

(佐々木補佐)

影山会長ありがとうございました。

それでは、その他でございますが、皆さんから何かございますか？

(6) 閉会

それではこれもちまして、令和6年度第2回花巻市地域包括支援センター運営協議会を閉会いたします。

本日はご多忙の中、長時間にわたりご協議いただきまして誠にありがとうございました。